

新型コロナウイルス感染防止を踏まえた活動指針（横浜8団ボーイ隊）

2020/7/3 作成（ver.1.0）

横浜8団ボーイ隊

隊長 饗場

1. 基本原則

- 新型コロナウイルスの流行下にあつて、日本連盟／神奈川県連／横浜地区／団の活動方針が定められている時は、原則これらの方針に従つて活動を実施する。
- 活動は極力月初の団会議で実施計画と感染防止策を説明し、団の承認を得て実施する。またやむを得ず活動を実施する場合は、事前に団委員長または副団委員長に了承を得て実施することとする。なお、単独の活動（保護者同伴）およびオンライン会議などリスクヘッジが取れる或いはリスクが少ない活動は除く。

2. 活動方針

- 基本、野外を活動の場とする。但し、活動の内容によっては屋内も使用するが極力避ける。
- 活動単位は、ソロ／バディ／班など少人数の集団での行動を優先し計画する。
- オンライン活動（zoom 会議等）は活動のサポートとして多用する。

3. 活動休止の前提条件 ※オンライン活動は除く

- 横浜市が外出自粛要請を発令した時（要請解除後は活動を再開。団承認）。
- 日本連盟／神奈川県連／横浜地区／団から活動休止方針が出た時（活動再開は方針解除後）。
- 活動地域で流行懸念（クラスター感染の発生）が生じた場合、団と協議し判断する。

4. 感染防止の基本対応

■基本的な考え方

- ・三密（密閉／密集／密接）の何れの状態にもならないように努める。
- ・マスク着用が習慣化した生活では飛沫感染よりも接触感染のリスク低減を図る。
飛沫感染：有症者のくしゃみ等により生じた飛沫を直接取り込んで感染する。
接触感染：有症者の飛沫に汚染された物品を触った手から感染する。
- ・マスクは「うつさない＞うつされない」の効果があり、無症状感染者の対策に有効なので着用を義務とする。

■野外活動時

- ・マスク着用の義務付け。マスクを忘れた場合は参加できない（隊で用意はしない。帰宅する）。
→マスクを失くすことも考慮して予備を持参することを推奨する。
※外気温が高い時、活動により体温上昇が著しい時は確実にソーシャルディスタンスが確保できる状況時のみマスクを外すことを許可する（リーダー判断）。
- ・活動当日の集合時に検温を実施する。また体調管理記録表（下記参照）を持参し確認する。
また記録として残す。

★体調管理記録表：一週間前～当日までの下記項目の記録表

本人項目：（must）①体温 ②咳、喉の痛み

（height-want）③味覚／嗅覚異常の有無

付帯情報：（want）家族（同居）の体調、学校関連の情報

→コメント欄に記載してもらう。

- ・活動中、こまめに手指消毒とうがいを推進する。
 - アルコール消毒または水が使えるばハンドソープによる手洗いうがいをを行う。
 - 集合時と解散時は必ずアルコール消毒を行う。
 - 食事をする時は食事前に必ず消毒を行う。
 - 公共交通機関を使用時は、乗車前と乗車後にアルコール消毒を行う。
 - 消毒用アルコールとハンドソープは隊で準備する。うがい用のコップは持参する。
- ・個人装備の貸し借りは禁止する（接触感染を防止するため）。
- ・隊装備はアルコール消毒した後で使用するか又は使用後に手洗いを励行する。
- ・ソーシャルディスタンスを確保できるよう努める。
 - スカウト同士の距離を2 m（最低1 m）確保するよう指導する。
 - 可能であれば活動単位をコンパクトにする（ソロ／バディ／班）。また時差開催なども考慮する。
 - ハイクなど移動を伴う活動の場合はスカウト同士の距離を1 m確保する

■屋内活動時

- ・屋内活動を行うときは野外活動の対応に追加して、より三密（密閉、密集、密接）を避ける対応をとる。

5. 活動参加の制約 ※スカウト、リーダー共に適応される。

■当日の体調管理

- ・朝、自宅で測定した体温が37.5℃以下であること。
- ・咳、喉の痛みが出ていないこと。
- ・味覚異常、嗅覚異常が見られないこと。

■当日までの体調管理

- ・活動日一週間前までの間に次の症状がないこと。
 - ①二日以上発熱（体温37.5℃以上）がある。
 - ②咳、喉の痛みが二日以上出ている。
 - ③味覚異常、嗅覚異常がない。
- ・単発（一日）の発熱、咳、喉の痛みの場合、症状が治まってから三日以上経過していること。

■本人の体調以外の制限条件

- ・本人が所属する学校／会社（建屋）でクラスター感染が発生した時。
- ・家庭内で同居する本人以外に感染者或いは感染が疑われる症状が発生した時。
- ・本人が所属する学年／職場で感染者が発生した時。
- ・感染者が陰性或いはクラスター感染が収束した時点で制限を解除する（隊長承認、団へ報告）。

以上